



水量4倍で灌水を省力化 新タイプのハスグチが好評

アン・コーポレーション

アン・コーポレーション(東京都)は、プロ向け灌水用具として世界中で定評のある米国・ドラム社製品の国内販売を開始した。ドラム社は、欧米の生産者に約40年にわたり使い続けられている灌水用具のリーディングカンパニーである。その特徴は、①丈夫で長持ち ②長時間使用できる軽さ③大量の水を柔らかく出せる—という点に絞られる。

今なぜ灌水用具に注目なのか?

この15年で急成長した園芸市場にあって、近年の不況から

る作業従事者の減少や高齢化は、業界全体の課題といえる。にもかかわらず、生産・流通・小売現場での作業量は昔と変わらず、省力化が進んでいないのが現状である。

そこで同社は、日々繰り返される「灌水作業」と、その「作業時間」を省力化することが、園芸の現場で必要なのではないかと考えた。

どう省力化できるのか?

ドラム社製のハスグチは、直径約5cmのヘッドに0.3mmの穴が1000個空いている。この特殊なヘッドを通して、水道直結と同等の大量の水を、非常に柔らかく灌水できるという。

風呂場のシャワーを見れば分かるように、一般的なハスグチは、中央部からあまり水が出ておらず、ハスグチの周辺に近い穴から水が出ている。つまり、実際に灌水できる水量が少ないため、作業効率が良いとはいえない。

ドラム社のハスグチは、1000個ある穴のすべてから同程度の水量が出る特殊な設計で、従来品と比較して4倍程度の水量を出すことができる。作業に合わせてパイプの長さも数種類から選べ、用途に合わせたハスグチとの組み合わせにより、さらに作業効率を上げることが可能だ。



寒い冬や、暑い夏、外現場で灌水作業をする人にとって魅力的なドラム社製品。ぜひ手にとりて魅力を感じてみては?

使用者の声

全店導入した(有)ヨネヤマプランテ
イシヨシ(神奈川県横浜市)に聞く

大量の花苗灌水でドラム社のハスグチを使用している卸部・米山氏に、現場の声を聞いた。

「とにかく水が柔らかい。泥の跳ね返りが少ないから、灌水で土が掘れてしまう心配をせずに、どんどん水やりができます。作業時間が短くなったので、ほかの作業に早く取りかかれるのがいいですね。」

全店を管理する本部・本多氏からは、管理の立場から意見が聞けた。

「最近の夏場は朝からぐっと気温上がるので、少しでも早く水やりを終わらせられるのは、植物の管理上でも大きな利点です。また、軽いうえにバランスがいいので、女性スタッフからの評価も高く、手の届きにくい場所へもしっかり水やりができます。スタップによってまちまちになりがちな灌水の作業品質が、非常に向上しました。」

灌水作業の効率が上がることでも、省力化だけでなく商品ロスを防ぐことも期待できそうです。

▽アン・コーポレーション
(担当/江口)

TEL 0422(21)6215

商品の詳しい情報はHPまで

<http://www.an-corp.jp/dramm/>